公益財団法人日独協会
Japanisch-Deutsche Gesellschaft

Nr.52

Der Brückenpfeiler

2025 年 5 月

Der Brückenpfeiler は「橋脚」という意味のドイツ語です

公益財団法人 日独協会　情報紙
Japanisch-Deutsche Gesellschaft
2025 年 5 月 1 日発行（不定期発行）
編集責任：柚岡一明（編集長）公益財団法人 日独協会
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 18-39 マヤ信濃町 2 番館
Tokyo, Shinjuku-ku, Shinanomachi 18-39, Maya Shinanomachi Nr. 2
TEL 03-5368-2326／FAX 03-5368-2065
Website : http://www.jdg.or.jp　Mail : jdg@jdg.or.jp

日独協会からのお知らせ

✻ 2025 年度 ドイツ語講習会上半期コース

4月から協会のドイツ語講座の新学期が始まりました。ほとんどのクラスがオンラインでの開催です（一部対面開催のクラスもあります）。ドイツ語ネイティブと日本人の教師がおり、それぞれの良さを活かした授業を行っています。隔月でテーマが変わる「学問のための基礎ドイツ語」クラスは、2 か月単位での参加が可能です。途中入構、体験受講などについては事務局にご相談ください。

✻ 研修生交代

エリザベト・ハーライターさんの研修が 3 月末で終了し、4月からセルマ・バーナート（Selma Bannert）さんの研修が始まりました。毎月開催の Sprachtreff をはじめ、協会のイベントや業務を幅広くお手伝いいただく予定です。9 月までの半年間、どうぞよろしくお願いいたします。セルマさんのインタビュー記事を本誌に掲載しています。ぜひお読みください。

セルマさん（左）とエリザベトさん（右）

✻ 会報誌 **Die Brücke** への投稿募集！

会報誌では今年、以下の２つのテーマで投稿を募集しています。

①　ベルリンの壁崩壊と統一に関する思い出・エピソード

②　現在開催中の大阪・関西万博を含むこれまでの万博での日独に関する思い出・エピソード

1990 年の東西ドイツ統一から 35 周年の今年、会報誌では統一前後のドイツでの体験、知人や友人の反応、統一後の変化を感じた瞬間など、皆様の体験や感想をお待ちしております！

また、2025 大阪・関西万博の開催に合わせ、これまでの万博での日独に関する体験、エピソードも募集いたします。

投稿は複数号に分けて掲載の予定です。投稿は 300 文字以内で協会のメールアドレス jdg@jdg.or.jp 宛てに、または右の QR コードを読み取った先の専用投稿サイトからお送りください（文字数についてはご相談いただくことも可能です）。

メールの場合は件名を「会報誌投稿」とし、必ず氏名をお書きください。（誌上での掲載名はイニシアルでも可）。なお、全員の投稿を掲載できない可能性がある点を予めご了承ください。

✻ 事務局の夏休み

8 月 18 日（月）から 29 日（金）まで事務局は夏休みとなり、業務取扱もお休みいたします。

ドイツ語講習会 2024 年度下半期コース
火～日曜日
Deutschkurse in der JDG, Oktober 2024 - März 2025
jeden Di.-So.

2025 年ドイツ語春期講習会
Intensivdeutschkurs im Frühling
3/1（土）～3/28（金）
Sa., 1. 3. 25.- Fr., 28. 3. 25.

第 5 回 ドイツの詩をドイツ語で朗読する集い
3/3（月）14:30～16:30
ベヒシュタイン・セントラム東京ザール
Lesung deutscher Gedichte auf Deutsch (5)
Datum: Mo., 3. 3. 2025, 14.30-16.30
Ort: C. Bechstein Centrum Tokyo
　私は今回初めて、「ドイツの詩をドイツ語で朗読する集い」に参加しました。日独協会のドイツ語講座を受講してからの三年の間に、ドイツリートも習い始めました。会報誌の案内に見覚えのある曲名が並んでいたので、これは一体何の講座かと見てみると、この講座でした。詩の朗読は未経験でしたが、曲としては習い終えたものばかりでしたので、急に興味がわいてきました。
　集いの会場には、聞く方たち約 10 人、朗読する方たちは先生を含めて 11 人。私は、皆さんの朗読を参考に、緊張しながらも六番目に朗読しました。最後は先生が魔王を朗読されました。発音、声の抑揚や朗読中の雰囲気など、皆さんが聞き入って静まるほど迫力がありました。私もこう歌いたいです。最後に先生が、「ドイツ語の発音は難しいけれど、子音を立てて、力を抜いて発音するのですよ。すぐにはできませんから、続けてください。」とおっしゃいました。
朗読後は、おやつを食べながらの交流会でした。
　今回詩を朗読することで、ドイツ語とドイツリートがようやく結びついたように感じました。このような素敵な講座を開いていただいたことに心より感謝いたします。（天野 歩子）

参加者全員で集合写真

新春懇談会サロン
3/10（月）18:00～19:30
日独協会セミナールーム
Gesprächsalon
Datum: Mo., 10. 3. 25, 18.00-19.30
Ort: Seminarraum der JDG
講演者：金志成先生（東京都立大学准教授）
参加者 13 名。1989/1990 年に起こったベルリンの壁崩壊／東西ドイツ統一は、当初の時事的な関心が薄まり、新しい文学作品（Wende Roman）として重要性を増していると言われている。本講演では、その代表的な作品であるルッツ・ザイラーの長編小説『クルーゾー』（2014）について、「男同士の友情の物語」という意味から現代ドイツ文学に親しむ機会を、本作の邦訳を手掛けられた金先生に提供頂いた。金先生には 2016 年 4 月ドイツ留学から帰国された直後にも、当時の「ドイツに学ぶ会」で同じドイツの現代文学についてお話し頂いている。ドイツで高い評価を受けている本作は、大作且つ難解な面を持つ。今回の講演では、金先生により戦後ドイツ文学の新たな読み方が示されたが、それでも「やはり難解で重たい」と感じる参加者の声も聞かれた。（佐藤 勝彦）

文化セミナー169「総選挙後のドイツはどこへ？―報道とデータでみる最近の政治・社会情勢―」
3/14、28（金）18:30～20:30
Kulturseminar 169: Wohin steuert Deutschland nach der Bundestagswahl?
Datum: Fr., 14.& 28. 3. 25, 18.30-20.30
　3 月 14 日と 3 月 28 日の両日に渡り、「総選挙後のドイツはどこへ?」のタイトルでオンラインセミナーが開催されました。講師はお馴染みの髙島亜紗子先生と小野竜史先生。
　今回のドイツ総選挙の結果から、今後のドイツの政局を分析・予測してゆく内容でした。「AfD」と「Linke」が票を伸ばしたことが注目されましたが、其の原因は既存の大政党が、現在の諸事情に対して有効な対策をとれていないことに対する国民の不満が、反動として(絶対的に支持しているわけではないが)、そのような人たちの意見を代弁するような主張をしている、両極端の政党に流れたのではないか、という意見もありました。
　今後、ドイツで大連立を含めた新政権の組閣交渉が進みますが、世界情勢及び国内事情の動きに連動し、どの様な方向に向かうか、今後も語り合って行きたいと感じた次第でした。（柴田 明）

ドイツ時事問題研究会　第 108 回
3/15（土）15:00～17:00
Studiengruppe "Deutschland aktuell" (108)
Datum: Sa., 15. 3. 25, 15.00-17.00
　3 月の主なトピックスは、①CDU の移民規制強化動議が AfD（右翼ポピュリスト政党）の賛成で連邦議会を通過、②政治の右傾化に反対し、民主主義の堅持を求める大規模デモが各地で発生、③連邦議会選挙で予想を下回った CDU の得票率、④CDU/CSU と SPD が連立の基本的方向で合意、⑤CDU/CSU と SPD が提出した基本法改正法案（債務ブレーキの緩和）が緑の党の賛成で議会を通過、などについて背景や経緯などを報告し、質疑応答を行った。
　「今月のテーマ」では「連邦議会選挙の結果」をとりあげ、世論調査機関による出口調査の結果など各種データを参照しつつ、各政党の勝因や敗因を探った。とくに若者の間で AfD および左派党という両極の得票率が高かったことに注目して、議論が進んだ。もう

一つのテーマは「第２党に躍り出た AfD、これからは」で、新井世話人からこれまでの経緯や高得票率の背景、今後を左右する要因などを報告し、議論が高まった。（伊﨑 捷治）

シュプラッハトレッフ（日独言語交換会）
3/15（土）19:00～20:40
Sprachtreff
Datum: Sa., 15. 3. 25, 19.00-20.40

３月の参加者 45 人で、日本人 25 人、ドイツ人 20 人でした。いつも通り、季節にあったテーマを考えて、３月のテーマは「春と新生活」と「引っ越し」の２つでした。私のグループの参加者（日本人２人、ドイツ人３人）は、桜について話しました。特に、桜の時期と春の食べ物についていろいろな意見が出ました。例えば、ミスド（ミスタードーナツ）の特別な桜のドーナツは本当に美味しいです。その他にも、ドイツ人は花見に持っていく食べ物に興味がありました。

桜の花が咲く時期について話したので、地球温暖化についても意見交換しました。ドイツ人の参加者は、日本中の桜の花がいつ咲くかを教えてくれるウェブサイトなど色々な面白くて便利なウェブサイトを教えてくれました。

今回は私が日独協会で研修生として参加する最後の Sprachtreff でしたが、将来もサポーターとして参加したいです。次の研修生のセルマ（Selma）さんは３月の Sprachtreff に参加してくれて、Sprachtreff のサポーターとしてベテランの上野さんから進め方などを学ぶことが出来たようです。では、セルマさん、次の Sprachtreff をお任せしますね。

（ハーライター・エリザベト）

独逸塾
3/17（月）19:00～21:00
Gesprächskreis: Neuigkeiten aus Deutschland
Datum: Mo., 17. 3. 25, 19.00-21.00
参加者 19 名。
１．テキストは 2024 年 11 月 19 日の Tagesschau より So wird der Klimawandel Deutschland verändern
1)ドイツは地球温暖化の影響を受け、今後ますます暑くなり、病気も増え、豪雨も増えると専門家は予想している。25 年後には気温は 1881 年比 1.9 度から 2.3 度上昇する。具体的には 40 度以上が通常となり夜も 20 度以上が珍しくなくなる。
2)地方自治体の対策
より多くの植物、より少ない自動車、より多くの日陰が合言葉となり、移動可能な日陰設備の設置等に取り組んでいるが費用と時間がかかる問題がある。
２．テキストは 2025 年１月４日のシュピーゲル誌より Der Obertroll.（トロールとはネット用語で“悪意のある挑発的な行動をする人”を意味する。）
１）トランプの助言者でもあり、世界最大の資産家イーロン・マスクがドイツの政治家たちを侮辱し、AfD への投票を呼び掛けている。彼の影響がどれほど危険となるか。
２）イーロン・マスクは 2022 年に Twitter（現・X）を買収、極右の個人や団体の凍結されたアカウントを再有効化し違法コンテンツの管理を担当していた大部分の従業員を解雇した。その結果、大量の偽情報や極右のプロパガンダがあふれることとなった。彼は X で２億人以上のフォロワーを持ち影響力は絶大である。
３）彼は X でショルツ首相を無能でバカ、シュタインマイヤー大統領を反民主主義の独裁者と呼び中傷、ドイツの寛容な移民政策に反対している。一方彼は AfD を高く評価しており AfD の基本政策である不法移民への反対、トランスジェンダーへの反対等の価値観がマスクの世界観と合致している。
４）マスクの AfD への投票呼びかけを、ドイツ政府は内政干渉として強く反発している。
ドイツ語の解釈をめぐり活発に意見が交わされた。
（森永 成一郎）

文化セミナー170「ドイツ鉄道で安く！幻想のドイツを旅する～南ドイツから王都ドレスデンを目指す旅」
3/21（金）19:00～21:00
Kulturseminar 170: „Mit der Deutschen Bahn günstig durch Phantasie-Deutschland reisen - von Süddeutschland in die Königsstadt Dresden“
Datum: Fr., 21. 3. 25, 19.00-21.00

対面とオンライン配信のハイブリッド開催で、参加者は合計約 40 名でした。セミナーはまず、ドイツ鉄道が発行している Deutschlandticket（月 58 ユーロで高速鉄道以外の鉄道、地下鉄、バスが乗り放題になるチケット）のお話から始まりました。現在はデジタル化しておりスマートフォンがないとこのチケットが買えないとのことで、時代の変化を感じます。

その後はいよいよミュンヘンからドレスデンまでを北上するルートの紹介です。ルート上に点在する街々については、定番の観光スポットだけでなく、「幻想にひたれる」場所や、その歴史背景などもご紹介いただきました。

戦時中も奇跡的に火災にあわず、バロック時代そのままの雰囲気を味わえるというバイロイトの「辺境伯歌劇場」や、アナベルク＝ブーフホルツのかつての鉱山など、街々の様々な魅力を紹介いただき、セミナー終了時には参加者の皆さんも次のドイツ旅行に想いをはせているようでした。対面参加の方には、最後に大畑さんによるクイズ大会があり、多く回答した方にささやかなプレゼントが渡されました。楽しく役立つお話をしてくださったドイツ観光局の大畑悟さん、ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました！

花見
3/30（日）12:30～15:30
練馬区光が丘公園
Hanami
Nerima-Hikarigaoka Park
Datum: So., 30. 3. 25, 12.30-15.30
このイベントのレポートは会報誌６月号に掲載予定です。

※会場が書かれていないイベントはオンラインで開催されました。

新研修生セルマ・バーナート（Selma Bannert）さんインタビュー

4 月からセルマさんの研修が始まりました。今年 9 月末まで協会の業務、イベントをお手伝いしていただきます。セルマさんは協会のことにも日本のことにも好奇心いっぱい！すでにドイツ語講座のお手伝いやインスタグラムへの投稿など積極的に業務を行っています。いろいろなことに興味があるセルマさんですから、これから半年、協会の活動にもたくさんのアイデアや刺激を与えてくれそうです。

出身

ドイツ西南端にあるシャルバッハ（Schallbach）という村が私の出身地です。でも、生まれたのはスイスのバーゼル（Basel）です。シャルバッハはスイスとフランスの国境に近く、ライン河の対岸はスイス。バーゼルにも歩いて 20 分で行けます。このような地域なので、学校ではみんなスイスドイツ語やフランス語を話していました。地域にはアルマン語（Alemannisch）という方言があって、「こんにちは！」は「Solli」と言います。故郷は自然が豊かなところで、近くには黒い森（Schwarzwald）があり、小さいころからよくハイキングしました。酪農家や農家も多いですし、ワイン（特に Weißburgunder）も有名なんですよ！

京都の寮の窓からの景色：西本願寺！

興味・好きなもの

小さなころから自然の中で過ごすことが好きで、昨年京都に留学していたときは、毎週末、山へハイキングに行きました。季節の変化を観察するのは素敵なことです。祖父からもらった Nikon 製のフイルムカメラでそんな素敵な風景の写真を撮るのが好きです。日本の紅葉はすばらしいですね！昨年の 9 月にはしまなみ街道をサイクリングしましたし、今年に入ってからは安比高原でウィンタースポーツも楽しみました。でも、アウトドアだけでなく、カフェで読書したり、コーヒーを淹れたり、美術に触れるのも好きです。昔バーゼルの美術館で日本画を見てから、浮世絵や美人画にも興味を持っています。5 才からバイオリンを始めて、バイオリンを弾くことも私の大事な趣味ですが、東京では（騒音を考えて）演奏できないですね。。。建築にも興味があり、日本に滞在中に安藤忠雄さんの建築物をたくさん見に行きたいと思っています！
好きな食べ物は、うめぼしです！

紅葉の季節に山へハイキング
（左端がセルマさん）

専攻と留学

テュービンゲン大学で韓国学と日本学を学んでいます。2022 年には 1 年間ソウルの高麗大学校に留学し、2024 年 9 月から半年間、同志社大学で学んだあと、今は日独協会で研修しています。中学生の時から東アジアに興味を持つようになりました。朝鮮戦争について韓国の女性作家が書いた小説を読んで歴史に興味を持つようになり、また、日本の美術についても興味がありました。それで、韓国と日本、ヨーロッパの関係について勉強しようと決めました。卒業論文は、在日韓国人の女性文学について書いています。
京都に留学中のエピソードを一つ。去年の 12 月、友人に勧められて伊根町（海面すれすれに並ぶ舟屋の景観で人気の町）を訪れました。町を歩いていると、カフェから歌声が聞こえてきました。そこでは小さなパーティが行われていました。私たちも「どうぞどうぞ」と招き入れてくれて、一緒にカレーライスを食べて、最後にはドイツ語のクリスマスソングを一緒に歌ったりしました。留学中で家族と過ごせないクリスマスでしたが、このカフェで家族と一緒にいるような気持ちになってとても感動しました。忘れられない思い出です。

しまなみ街道の素敵な景色

言語について

言葉を勉強する目標は、本を原語で読めるようになることです。韓国語と日本語は文法や言葉で似ているところがありますが、響きについては韓国語にはダイレクトで強い感じがあります。日本語はやさしく丁寧に聞こえます。漢字は、とてもおもしろいです。もともとの成立と関係があるのでしょうが、漢字は美術的です。中国、韓国、日本の漢字を比べるのは、とても楽しいですね。
日独協会でも、ドイツ語講座のお手伝いをしたり、授業を見学したいと思っています。

会員へのメッセージ

研修期間中は、日独協会の仕事を手伝いながら、会員の方々の考えやお話を聞きたいです。ぜひ、ドイツと日本についての皆さんの考えを聞かせてくださいね！

公益財団法人日独協会
Japanisch-Deutsche
Gesellschaft

Veranstaltungen　催物案内

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 18-39 マヤ信濃町 2 番館
電話 03-5368-2326（代表）FAX 03-5368-2065
Website : http://www.jdg.or.jp　E-Mail : jdg@jdg.or.jp

（公財）日独協会が開催する催物のご案内です。申込方法は次の通りです。
① 会場の記載のないものは ZOOM を使用したオンライン開催となります。
② 事前申込制・先着順の受付となります。
③ 日曜日、月曜日は受付作業、お問合せ等の対応はできませんので、あらかじめご了承ください。
※ いただいた個人情報はイベント開催に関するお手続き以外には使用いたしません。
日独協会の概要及び催物最新情報はウェブサイトでもご覧頂けます。☛ http://www.jdg.or.jp
問合せ　E-mail：jdg@jdg.or.jp　Tel.：03-5368-2326（月～金 14:00～17:00）Fax.：03-5368-2065

◇ドイツ時事問題研究会◇

日時：2025 年 5 月 17 日（土）15:00～17:00 **申込期限**：開催 2 日前まで　**会費**：無料
テーマ：毎回参加者の提案をもとに次回のテーマ（複数可）を決定　**定員**：20 名
世話人：伊﨑 捷治 理事、新井 俊三 氏
申込み：事前にメールで参加申込みをいただいた方に世話人から「招待」メールをお送りします。
世話人連絡先 Tel.：080-1137-5111　E-mail：isakis(a)snow.ocn.ne.jp　※ (a)は@に書き換えて下さい

参加者がドイツの政治、経済、社会などの分野で関心を抱いた事柄やテーマを持ち寄り、相互の情報交換やディスカッションを通じて経緯や背景を探り、日本との比較も踏まえながらドイツの現状や動向について理解を深めます。これまでに難民問題、エネルギー問題、日独の生産性の違いなどについて討論しましたが、これからもコロナ危機の克服、経済再活性化、ドイツが EU の強化や持続可能な発展などに果たす役割など、ホットなトピックスを採りあげていきます。

◇Sprachtreff（シュプラッハトレッフ）◇

日時：2025 年 5 月 17 日（土）日本時間 19:00～20:40　ドイツ時間 12:00～13:40
会費：（公財）日独協会会員：無料 ／ 一般：2,000 円　**定員**：50 名程度
担当：セルマ・バーナートさん、芦野 淳子さん
参加条件：語学交換を積極的に楽しみたい方（目安レベル：A1.2 以上）
申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

Sprachtreff はオンラインで開催している語学交換会です。レベルごとに少人数のグループに分かれて日本語とドイツ語で 40 分程度ずつおしゃべりをします。（上級はテーマと言語の時間指定はありません）。また、B1 レベルまでのグループにはサポーターが付き、会話のお手伝いをします。

◇独逸塾：「ドイツのニュースを楽しむ会」◇

日時：2025 年 5 月 19 日（月）19:00～21:00 （18:30 からオンライン上で開場）
申込期限：開催前週の金曜日まで　**会費**：無料
世話人：森永 成一郎 氏
申込み：新規参加希望の方は、会員資格の有無、メールアドレス、電話番号を記載の上、協会までメール（ jdg@jdg.or.jp ）でお申込みください。

ドイツのニュースを取り上げ、読むだけでなく、背景となるドイツ事情を学ぶ独逸塾。ドイツ語初級文法を一通り終えた方向けで（新聞記事には間接話法が多用されるため、接続法も習得されているとなお良いでしょう）、「お試し参加」、聴講のみも可能です。

◇（対面）新入会員交流会　～ドイツパンをいただきながら～◇

日時：2025 年 5 月 25 日（日）15:00～17:00
会場：日独協会事務所内セミナールーム
対象：2024 年以降に入会された方（入会年は会員番号の最初の 4 桁となります）定員：15 名程度
会費：1,000 円（ドイツパンと飲物代込み）※会費は当日受付にてお支払いください。飲食の準備の関係で、5 月 23 日以降にキャンセルされた場合も、会費をお振込みいただくことがあります。
申込み： 協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

新しく会員になられた方の中には、協会のイベントや講座についてよくわからず参加を迷っている方もいらっしゃると思います。今回の集いでは、リラックスした雰囲気の中、会員同士だけでなく、協会の役員、スタッフ、研修生とも交流しながら、協会の活動についてもぜひいろいろ質問をしていただければと思います。

◇（対面）懇談会サロン　テーマ「バウムクーヘンの過去・現在・未来」◇
講師：河本 英雄氏 （株）ユーハイム代表取締役社長
日時：2025 年 5 月 26 日（月）18:00～19:30　**申込期限**：5 月 23 日（金）
会場：日独協会事務所内セミナールーム　　**定員**：24 名
会費：（公財）日独協会会員 500 円　一般 1,000 円　※ 当日集金いたします。
世話人：木田 宏海 理事
申込み：お名前、（公財）日独協会の会員番号、メールアドレス、電話番号を記入の上、世話人の木田理事までメールでお申込みください。世話人連絡先：hi-kida(a)aurora.ocn.ne.jp　※ (a)は@に書き換えて下さい。

100 年以上前にドイツから日本へ伝わったバウムクーヘン。その歴史を振り返りながら、ユーハイム社が築いてきた歩みと、素材や技術の進化による“今”の魅力、さらに伝統を大切にしながら次世代へつなぐ新たな挑戦についてご紹介します。

【予告】◇（対面）黒い森のシュペッツレ◇
日時：2025 年 6 月 6 日（金）
会場：千駄ヶ谷社会教育館料理室（東京都渋谷区）
研修生セルマさんの故郷の伝統料理 Spätzle を教えてもらって作るイベントを企画中です。時間や会費等は現在調整中です。詳細は決まり次第、ウェブサイトで告知いたします。

Wir laden Sie ganz herzlich zu unseren kommenden Veranstaltungen ein und bitten Sie, sich wie folgt anzumelden:

1. Wenn kein Veranstaltungsort erwähnt wird, findet die Veranstaltung online statt.
2. Sofern notwendig müssen Anmeldungen im Vorraus erfolgen. Anmeldungen werden von uns der Reihe nach bearbeitet
3. Bitte beachten Sie, dass wir sonntags und montags keine Anmeldungen oder Anfragen beantworten können.

Informationen zu den aktuellen Aktivitäten der JDG finden Sie jederzeit auf unserer Internetseite (http://www.jdg.or.jp).
E-Mail: jdg@jdg.or.jp　Tel.: 03-5368-2326（Mo.-Fr. 14.00～17.00 Uhr）　Fax.: 03-5368-2065

Sprachtreff (Online-Gruppentandem)
Datum: Samstag, der 17. Mai 2025, 12.00-13.40 Uhr deutscher Zeit (19.00-20.40 Uhr japanischer Zeit)
Beitrag: Deutschsprachige Teilnehmer • Mitglieder der JDG Tokyo: kostenlos / Alle anderen: 2.000 Yen
Anmeldung: Über das Online-Formular auf unserer Website

Der Sprachtreff schafft eine einmalige Plattform für sprachinteressierte Leute jeden Alters, die Deutsch bzw. Japanisch lernen und sich über unterschiedliche Themen unterhalten möchten. Es werden maximal 50TN zugelassen, um die Gruppen klein zu halten. Wir bitten darum, sich zum Sprachtreff anzumelden, wenn ihr bereits in der Lage seid, euch aktiv an Gesprächen zu beteiligen, also etwa die Stufe A1.2 erreicht habt. Die Japanisch-Deutsche Gesellschaft freut sich auf eure Teilnahme.

Treffen für die neuen Mitglieder zusammen mit Deutschesbrot
Datum: Sonntag der 25. Mai 2025, 15.00-17.00 Uhr
Ort: Seminarraum der JDG Tokyo
Zielgruppe: Alle Mitglieder die seit dem Anfang 2024 beigetreten sind (Die ersten 4 Stellen Ihrer Mitgliedernummer sind das Beitrittsjahr)
Teilnehmerbegrenzung: 15 Teilnehmer
Beitrag: 1.000 Yen (Kosten für Brot und Getränke inbegriffen) ※Der Teilnahmebetrag wird vor Ort kassiert. Da das Brot vorbereitet werden müssen, bitten wir Teilnehmer, die nach dem 23. Mai eine Absagen einreichen, den Betrag an uns zu überweisen.
Anmeldung: Über das Anmeldeformular auf unserer Website

Einige neue Mitglieder möchten mehr über die Veranstaltungen und Kurse der Gesellschaft erfahren. Bei diesem Treffen haben Sie die Möglichkeit, andere Mitglieder, die Vorstandsmitglieder und Mitarbeiter sowie die Praktikantin in entspannter Atmosphäre kennenzulernen und ihnen Fragen zu den Aktivitäten der Gesellschaft zu stellen.

Schwarzwälder Kässpätzle (in Präsenz)
Datum: Freitag der 6. Juni 2025
Ort: Küche im Sendagaya Shakaikyooikukan
Wir planen einen Kochkurs zur Zubereitung von Spätzle, einem traditionellen Gericht aus der Heimat von Praktikantin Selma. Der Termin und die Gebühren werden derzeit ausgearbeitet. Sobald genauere Informationen feststehen, werden wir sie auf unserer Website bekannt geben.